



各地で進む未来への投資

各地で、道が今も作られています。それぞれに期待される理由があります。それぞれの道が明るい未来に続くよう、しっかりとした「まちづくり」の礎となるようチェックを続けます。また、身近な公園が市民と行政の協働により、より良い環境となります。花いっぱい「まちづくり」にご協力ください！（畑岡洋二）



国道 50 号 稲田・飯合間のバイパス機能が期待される、来栖本戸線 (L=3,200)、大古山地区 (H25.5.9)



笠間芸術の森公園北側の交通安全向上が期待される、笠間小原線 (L=560)、桂町・馬廻地区 (H25.5.9)



平町・橋爪地区のバイパス機能が期待される、上町大沢線 (L=900)、宍戸小学校北側付近 (H25.5.9)



市民との協働でできた桜とスイセンの花園、笠間 SC ポレポレシティ隣り、亀ヶ橋北児童公園 (H24.4.12)

編集後記

第1回定例会の予算特別委員会を迎えると、あの震災を思い出します。議員に成りたての私が初めて審査する予算案でした。震災の復旧事業が予想された非常時、平時に作られた平成23年度予算案がそのまま執行できるはずもなく、審査を止め、議会最終日に予算執行に必要な手続きを済ませました。あれから2年、まだまだ原発関連の多くの問題が未解決ではありますが、明るい未来を信じた「まちづくり」は進んでいます。さて、議会の活動を少しでもタイムリーにお伝えすべく、6月の定例会を待たずに開かれた、笠間の環境を維持するための「残土条例」見直しを主とした臨時会、東海原発の影響下にある笠間市として、原発を冷静に理解するために実施された「福島第二原子力発電所視察」を掲載しました。紙面の都合により、詳細は近くの議員にお尋ね願います。（畑岡洋二）
議会だより編集委員会

委員長 鹿志村清一
副委員長 畑岡洋二
委員 橋本良一
委員 鈴木貞夫
委員 西山猛
委員 町田征久